

令和6年度 京都府立清新高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
一人一人のペースを大切にしながら、社会とつながる学びを通して、自立心・主体性を身につけさせ、地域で活躍しようとする生徒を育てる。	【 成果 】 ・地域連携の推進及び3系列の特徴的な学びを生かした取組の充実 ・学校行事、生徒会活動の充実 ・ICT活用や学習用端末の利用促進 ・施設設備の充実と居場所づくりの推進 ・教職員の働き方改革の推進と長時間勤務縮減の取組の充実 ・勤労体験やインターンシップの取組の充実と関係作り 【 課題 】 ・希望進路の実現に向けた進路指導の充実とキャリア教育の推進 ・人権意識の高揚とルールやマナー等の徹底 ・自身の健康への理解と健康増進の取組の充実 ・生徒、保護者目線の広報活動の展開 ・指導と評価の一体化の進展 ・課外活動の充実と社会参画意識の高揚	1 生徒一人一人の自立心・主体性の育成を目指した、支援・指導体制の充実 2 分かる授業づくり、指導と評価の一体化の進展 3 人権感覚の育成及びルールやマナー、モラル等の理解教育の推進 4 心身の健康の保持及び増進 5 卒業後を見据えた進路指導及びキャリア教育の推進 6 開かれた学校づくりを目指した、地域連携及び広報活動の充実

※評価は4段階とし、A～Dの記号で表記する。

（A：十分達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった）

評価領域	重点目標	具体的方策	評価		成果と課題
組織・運営	地域の人材活用による学びの一層の推進	地域おこし協力隊（地域コーディネーター）と連携し、地域の産業を踏まえた連携先・連携内容の開拓・充実を図り、地域の特性を理解し丹後の魅力を再発見する活動、郷土愛を醸成する活動を実施する。 【 年間実施回数 A：10回以上 B：7～9回 C：4～6回 D：4回未満 】			
	開かれた学校づくりを目指した広報活動の一層の推進、広報手段の検討と内容の整理	授業や各種行事など、生徒の取組や学習内容、生徒の頑張りを、スピーディに紹介する。 【 学校評価アンケート肯定的評価 項目：「開かれた学校づくり」に向けた広報活動が充実 A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満 】			
		学校HPやフェイスブックに加え、学校通信（SeishinTimes）を発行し、公民館掲示や地区回覧板への掲載により、生徒の取組や学習内容を地域に紹介し、生徒の頑張りをアピールする。 【 年間HP更新回数 A：70回以上 B：50～69回 C：30～49回 D：30回未満 】			
	3系列の特性を生かした校内体制の整備（連携の強化）及び地域連携の充実	各系列の特性を生かし、栽培・加工・販売を通じた清新ブランドの商品開発等、系列を超えて連携した取組の充実を図る。奈具丘祭での発表をはじめ、それらの活動を通して地域とのさらなる連携を図る。 【 年間実施回数（系列を超えた取組） A：8回以上 B：5～7回 C：3～4回 D：3回未満 】			
	学校運営協議会、PTA組織との協力体制の構築	PTA役員が積極的に会員に参加を促し、PTA行事を活発に行う。PTA行事や学校行事等を通して保護者と教職員が理解と信頼を深め、家庭、学校、地域が連携しながら生徒の成長を見守り支える体制作りを進める。			

		【 取組の年間実施回数 A：8回以上 B：5～7回 C：3～4回 D：3回未満 】			
		学校運営協議会を開催し、学習活動や各種行事、PTA活動等についての意見を聞き、効果的な学校経営に活かす。 【 委員8名の年3回の会議への参加人数計 A：22人以上 B：18～21人 C：14～17人 D：14人未満 】			
	教育環境の充実、整備	教育環境の充実に向け、施設設備の改修に取り組むとともに、限られた施設の有効活用とICT環境の一層の充実を図る。 【 学校評価アンケート（生徒）肯定的評価項目：学習に向けて頑張ることができる 教育環境や施設・設備が整っている A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満 】			
	安心、安全な教育環境の充実、整備、維持管理	危険箇所の早期発見、教職員全員での情報共有と、その改善・老朽箇所の整備を進め、安心安全な教育環境の維持管理を図る。 【 定期的な校内巡視の実施 A：年12回以上 B：年10～11回 C：年8～9回 D：年8回未満 】			
	教職員の働き方改革の推進と長時間勤務の縮減	行事、業務を精選し、教職員の多忙感、負担感の軽減を図る。またICT活用を積極的に進めることで業務の改善も図り、時間外勤務の削減を進める。 【 「時間外在校等時間 月45時間以内」の目標達成率（月平均） A：100% B：95%以上 C：90%以上 D：90%未満 】			
学習支援	観点別評価および指導と評価の一体化の推進による学びの充実	観点別評価および指導と評価の一体化に関する校内研修会を実施し、評価方法の改善、生徒の学びへの意欲向上を目指した授業改善を行う。 【 授業アンケートの肯定的評価（生徒） 項目：授業は満足できる A：90%以上 B：80%以上			

		C : 70%以上 D : 70%未満 】			
	学習用端末の活用による、わかる授業づくりと、情報モラル教育の推進	校内教職員研修等で積極的にICT機器やアプリを活用することにより教職員自身が実践を行い、授業にも活用できるようにする。 ICT機器を安全かつ効果的に活用するために情報モラルや情報リテラシーの指導を行う。 【 学校評価アンケート（生徒）肯定的評価項目：ICTを活用した学習活動が充実 A : 85%以上 B : 75%以上 C : 65%以上 D : 65%未満 】			
	適性や能力について生徒自身の理解促進、ソーシャルスキルの向上	1年次「産業社会と人間」における適性・能力理解やソーシャルスキルトレーニング、2年次・3年次での系列による学びを通して、自身の興味関心や適性の理解を促し、主体的に進路選択する姿勢を育てる。 【 卒業年次生の進路希望調査「未定」率 A : 0% B : 5%まで C : 10%まで D : 15%以上 】			
生徒支援 安全教育	課外活動（部活動、ボランティア）を通した、生徒の社会参画意識高揚	ボランティア活動や地域連携授業への参加を推奨する。 部活動への加入促進と同好会など生徒の主体性を活かした新しい活動の育成活発化を図る。 【 学校評価アンケート（生徒）肯定的評価項目：部活動やボランティア活動は充実 A : 90%以上 B : 85%以上 C : 80%以上 D : 80%未満 】 【 ボランティア活動、地域連携授業等への参加生徒人数計 A : 100人以上 B : 80～99人 C : 60～79人 D : 60人未満 】			
	命の教育、人権教育の推進	卒業までを見通して計画的に人権学習を進めるとともに、学校生活のあらゆる場面を通じて命を大切にする気持ちを育み、人権意識の高揚を目指す。 【 年間実施回数（人権学習・命の教育等） A : 4回以上 B : 3回 C : 2回 D : 1回 】			

	生徒会活動を通した、生徒の自治意識の高揚	生徒会行事（球技大会、学校祭など）の計画・運営や、様々な企画に取り組ませることで、組織作りの大切さと達成感を学ばせる。 【 学校評価アンケート（生徒）肯定的評価項目：学校行事は充実している A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満 】			
進路支援	卒業後を見据えた進路指導の推進	全学年に向けて進路講演会、進学就職ガイダンス、分野別説明会などのキャリア教育を推進する。 【 年間実施回数 A：10回以上 B：8回 C：6回 D：6回未満 】			
		職場体験・インターンシップ・勤労体験学習等の体験活動の充実を図る。 【 インターンシップ後に実施するアンケート（生徒）肯定的評価 A：90%以上 B：85%以上 C：80%以上 D：80%未満 】			
	希望進路の実現	進学・就職指導を充実させ、卒業生全員の希望進路の実現を目指す。 【 卒業希望生徒の進路決定率 A：100% B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満 】			
教育相談 健康教育	健康教育の推進と充実	生徒の実態に即した保健指導（歯科・睡眠）、性教育を実践する。 【 保健指導の年間実施回数 A：7回以上 B：5回 C：3回 D：2回以下】			
	教育相談体制、特別支援教育体制の充実	生徒を理解・支援するために、関係分掌と相互に連携し、見立てや方向生を検討する。 遅刻欠席者の背景確認とその対応のため、担任と連携する。 対象生徒の個別の指導計画を作成・共有し、全教職員が関わり活用できる仕組みを構築する。 スクールカウンセラー、まなび・生活アドバ			

		イザ一等の専門性を十分に活用する。 【 個別の指導計画活用率(年度末の教職員アンケート) A : 90%以上 B : 70%以上 C : 50%以上 D : 50%未満 】			
--	--	--	--	--	--

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--